

モバイルプラネタリウムでの障害者対応

二見広志(有限会社天窓工房)

エアードームと魚眼プロジェクターを使用するモバイルプラネタリウムにおいて、車椅子対応などの障害者対応の例を紹介します。

1. モバイルプラネタリウムとは

- ・ 小学校の体育館などに出向いて、
- ・ エアードームを膨らませ、
- ・ 魚眼プロジェクターで投影するシステムです。



写真 1(左) 体育館でエアードームを膨らませた様子1

写真 2(右) エアードーム内の様子

2. 常設館の例(1):傾斜型プラネタリウム館

- ★ 最前列など水平移動できる位置に車椅子スペース。
- ★ キャスター付きのリクライニング席に乗り換える。



写真 3(左) 傾斜型プラネタリウム館内の座席写真

図 1(右) 傾斜型プラネタリウム館座席表

3. 常設館の例(2):水平型プラネタリウム館

- ★ 一方向配列の場合、なるべく後方に車椅子スペース。
- ★ 取外し可能な座席を設けて車椅子スペースとする。

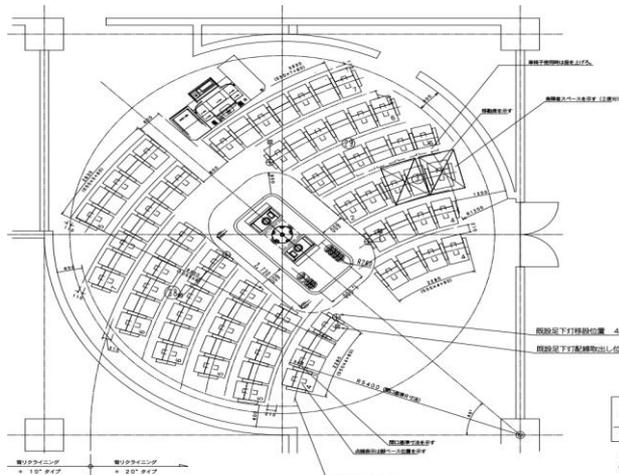


写真4(左) 水平型プラネタリウム館内の座席写真

図2(右) 水平型プラネタリウム館座席表

4. モバイル例(1):小学校にて

- ★ 小学校4年生、6年生の理科の授業で実施。
- ★ プラネタリウムを持たない自治体の学校は遠くのプラネタリウム館まで出向くことに。
- ★ プラネタリウムを呼べば、体育館に移動するだけ！



写真5(左) 小学校の体育館でエアドームを膨らませた様子2



写真6(右) 小学校の体育館でエアドームを膨らませた様子3

5. モバイル例(2):病院にて

- ★ 大学病院の院内学級にて実施。
- ★ 病院を出られない子どもたちへの出張投影。
- ★ 車椅子、ストレッチャーでも観覧できました。



写真7(左) ストレッチャーに乗る子がエアドームに入場する様子。

写真8(右) ストレッチャーや車イスに乗る子どもたちのドーム内での様子。

6. モバイル例(3): 特別支援学校にて

- ★ 多くの生徒が車椅子を利用。(この日は64台)
- ★ スクリーンをまくり上げて入場。
- ★ 皆さんプラネタリウム初鑑賞でした。



写真9(左) 体育館に膨らませたエアドームに生徒たちが入場する様子。

写真10(右) 生徒たちが並ぶ、ドーム内の様子。

7. まとめ

- ★ バリアフリー

◎ 移動・交通のバリアが小さい。プラネタリウムに行くのではなく、来てくれる。

◎ 車椅子やストレッチャーでも鑑賞できる。

- ★ 安全安心

◎ 解説者が観客の状態を見ながら進行するので安心である。